

令和5年度 斐太北小学校グランドデザイン

新潟県が目指すひとづくりの姿

- ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望をもって粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていく、たくましいひとづくり

新潟県の学校教育の重点

- 地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成

妙高市の目指す姿

- 夢に向かって人生を切り拓き、たくましく生き抜く妙高っ子の育成
- 子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた成長を支援し、将来の社会的自立に向けた基礎的な資質・能力を育成

教職員の願い

- <知育>
- 積極的に学び、学びを自分ごととして考えることができる。
 - 話を真剣に聞くことができる。

- <徳育>
- 気持ちのこもったあいさつができる。
 - 自分及び他者のよさに気づき、認めることができる。

- <体育>
- 自己を理解し、自己調整を図ることができる。
 - 自ら楽しく運動に親しむことができる。

保護者・地域の願い

- 「斐太の里」を知り、愛する、おもいやりのある大人になってほしい。
- 子どもたちを中心に、みんなで夢のある学校・地域づくりをしたい。
- 自立した子に育ってほしい。
 - ・自ら進んでやる。
 - ・自分の意見が言える。
 - ・自分で判断できる。
- 基本的な生活習慣を身に付け、外で元気に遊ぶ子に育ってほしい。
- あきらめない、失敗を恐れない、人のせいにしない子に育ってほしい。
- 活気、覇気がほしい。表現力を付けたい。

教育目標
年度の重点
目指す子ども像

進んで学ぶ子 心の豊かな子 たくましい子
ESD教育を通して、目指す子ども像の実現
自分の考えを創り出す子～「一步上の自分」を経験して目指す子ども像～

知育：学びを創る

学びを生かして課題を追求する子

徳育：心を創る

互いを理解し、温かな気持ちで接する子

体育：健康を創る

健康で安全な生活習慣を実践する子

具体的な実践

- ・ESD教育の視点に立った教育活動の展開
- ・学びを活用する大切さ、楽しさを感じることができる授業づくり
- ・間違いが価値あるものとして捉えたり、思考錯誤したりしながら学ぶ授業づくり

達成基準（学校評価）

- ・学校が楽しい。(95%)
- ・学びの評価アンケート (90%)
- ・みらい学習に自分から進んで取り組んだ。(95%)

具体的な実践

- ・思いやりの心や豊かな心を育む教育活動
- ・全校児童が地域と取り組むあいさつ運動
- ・年間を通して活動する縦割り班活動（フレンドタイム）

達成基準（学校評価）

- ・仲間に優しく接した。(90%)
- ・すすんであいさつができた。(90%)
- ・自分のよいところを見つけた、仲間のよいところを見つけた。(90%)

具体的な実践

- ・体力向上に向けた体育科授業の充実
- ・本物と触れ合う教育活動（体験活動、ゲストティーチャー）
- ・家庭との連携によるリズムづくりチャレンジの推進（自己管理能力の育成）

達成基準（学校評価）

- ・楽しく運動に取り組んだ。(90%)
- ・危険や安全のことを予測して生活した。(90%)
- ・規則正しい生活を送った。(95%)

持続可能な担い手の育成

学力向上に向けた取組

- 有意味学習の推進
- 探究的な学び
問いを大切しながら、探究することで学びを深める。
- 協働的な学び
他者の考えや思いに触れることで新たな考えや視点をもつ。
- 主体的な体験活動
主体的に体験活動に取り組むことで、考えが深まり、「本物の体験」となる。
- 読解力の育成
6領域の力を伸ばすための授業改善

ユネスコスクール加盟に向けた教育活動

- ESD教育を通して、6つの視点及7つの能力・態度の育成
- 持続可能な社会の担い手づくりに向けた教科横断的な学習
- 他者、他校との交流活動の推進
ユネスコスクールとの交流活動の推進
- 国際防災デー、人権デーにおける活動の推進
- 教職員の主体性のある研修
自ら学び、子どもたちに還元するという強い志
今年度は、算数の授業づくりに特化

家庭・地域等との連携、発信

- 家庭、地域への情報発信
学校日より、ESD日よりホームページ
- CS、企業等との連携
みらい学習（生活科、総合的な学習の時間）
- 読解力等、各種研修受講における市教委との連携
- 交流活動の推進
 - ・少年文化財団
 - ・校区福祉施設
 - ・斐太北保育園
 - ・姉妹都市の小学校
 - ・中学校区の小、中学校
 - ・ユネスコスクール

一 歩 上 の 自 分

斐太北小学校
コミュニティスクール

みらい学習（生活科、総合的な学習の時間）を中核とした
教科横断的な学習